

2021年8月4日制定

竹刀の安全な使用についての注意事項

昨今の組み換え竹刀で重篤な事故が発生した事例等を考慮した全剣連の「竹刀破損事故の根絶に向けての取り組み」(<https://www.kendo.or.jp/information/20210707-2/>)

を受け、当剣友会としましても、竹刀の上下(棟と刃部)を逆にしたり、ちくとうのピースを組み替えたりすること(新品の竹刀のピースを使った入れ替えを含む)は大変危険ですので、そういう竹刀は使用しないようお願いいたします。

上記 URL にもある通り、「幾度となく使用した竹刀は、打突部付近に負荷が一定期間集中し、反りや歪みが生じていることがあり、一度、反りや歪みが生じたちくとうのピースは一定の強度が保たれない可能性がある」からです。

加えて、全剣連の竹刀点検では、大きな事故が発生する可能性もあるので、次のような竹刀も絶対に使用してはならないと決められています。

(https://www.kendo.or.jp/wp/wp-content/uploads/2021/02/shido-yoryo_revised_plugin.pdf)

- 1) 竹が折れたり、ささくれのある竹刀
- 2) 竹に虫食いやキズのある竹刀
- 3) 表面に黒いカーボンが露出したり、ひび割れがあるカーボン竹刀
- 4) 先革の破れた竹刀
- 5) 中結が緩んだり切れている竹刀
- 6) 中結が剣先より全長の約 1/4 の位置に固定していない竹刀
- 7) 弦が緩んでいる竹刀
- 8) ちぎり(竹刀の握りの部分にある鉄片)が各ちくとうのピースに不完全に装着されている竹刀

9) 各種テープなどで補修した竹刀

10) 先芯、ちぎり以外の異物を挿入した竹刀

11) 先芯が、その大きさにおいて不安定であったり、劣化等で不完全の状態の竹刀(カーボン竹刀は、専用の先芯を使用すること)

12) 鏝を固定していない竹刀

組み替えていなくとも、ササクレを削るなどしてちくとうのピース間に隙間が出ているような竹刀も危険ですので使用しないようにお願いいたします。